

ごみ・リサイクル通信

vol.9



お問い合わせが多いごみの出し方について

ごみを出す際に、品目によっては燃やすごみで出したら良いのか、陶器・ガラス・金属ごみとして出すべきなのか、粗大ごみに該当してしまうのか、分かりづらいものがあるかと思えます。ごみの出し方について、区民の皆さまからお問い合わせの多かった品目をQ&A方式でいくつか挙げますので、ごみを出す際にはご参考にいただき、正しいごみの排出にご協力ください。

Q1 不用になった傘があるのですが、どのように出したら良いですか？

→ 陶器・ガラス・金属ごみとしてお出してください。



Q2 CDやビデオテープはどのように出せば良いでしょうか？

→ とともに燃やすごみとしてお出してください。



Q3 布団はどのように処分すれば良いでしょうか？

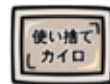
→ 布団は粗大ごみとなります。

処分される場合は、粗大ごみ受付センター(☎5715-1122)へお申し込みください。



Q4 使い捨てカイロはどのように出したら良いでしょうか？

→ 陶器・ガラス・金属ごみとしてお出してください。



Q5 植木鉢を処分したいのですが、どのように処分すれば良いでしょうか？

→ 素焼きの植木鉢については、陶器・ガラス・金属ごみとしてお出してください。また、プラスチック製の植木鉢やプランターについては、燃やすごみとしてお出してください。なお、不用になった土については毎月第二・第四土曜日の拠点回収で回収していますので、石や根っこを取り除き、そちらまで直接お持ちください。※30cmを超える植木鉢は素材に関わらず、粗大ごみになりますのでご注意ください。処分される場合は、粗大ごみ受付センター(☎5715-1122)へお申し込みください。



Q6 掃除機はどうやって処分すれば良いですか？

→ 掃除機も粗大ごみとなります。

処分される場合は、粗大ごみ受付センター(☎5715-1122)へお申し込みください。



Q7 コード類はどのように出したら良いでしょうか？

→ 電源のないコード(LANケーブルなど)については、燃やすごみとしてお出してください。また、電源付きのコード(延長コードなど)は、陶器・ガラス・金属ごみとしてお出してください。なお、ACアダプターや充電器については、毎月第二・第四土曜日の拠点回収で、小型家電として回収していますので、そちらまで直接お持ちください。



回 覧									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

品川区の清掃・リサイクル事業について

① 品川区の清掃事業とごみ量について

主な取り組みとしては、①住宅地での「ごみの各戸収集」の開始②商店街地区の早朝・戸別収集③「乾電池、蛍光灯、プラスチック製容器包装、水銀体温計・血圧計等のステーション回収」の開始④区内29ヶ所の拠点回収(25年10月からは小型家電も回収)、集団回収の支援等です。

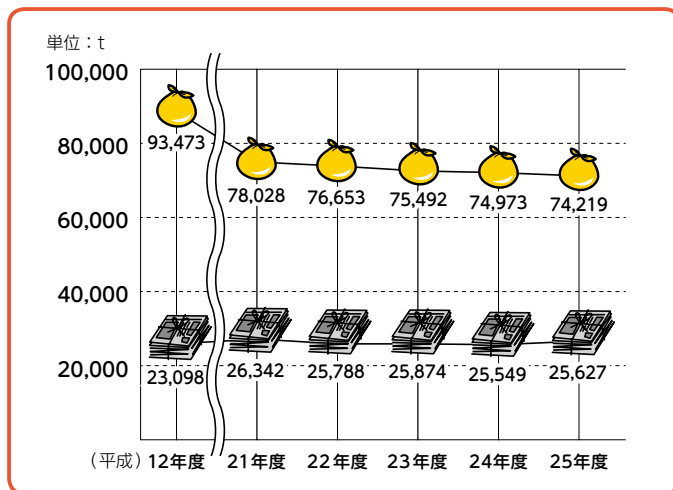
このような区独自の事業を展開する中で、ごみの減量や資源回収を積極的に進めてきました。

今後、さらにごみを減らし、資源の回収を増やしていくためには、特にごみの排出段階における発生抑制(リデュース:生ごみの水切り、詰め替え製品の購入等)や再使用(リユース:リサイクルショップ、フリーマーケットの利用等)の積極的な活用をお願いします。

また、ごみとして排出する場合は、分別の徹底による再生利用(リサイクル)をお願いします。

この間、ごみ量は、平成25年度は74,219トンで、これは平成12年度の93,473トンと比較すると約20%の減となっています。資源の回収量は、平成25年度は25,627トンで平成12年度の約23,098トンからは11%の増加傾向です。

● ごみ資源回収量推移表



区民一人あたりのごみ量

(25年度)

	ごみ収集量			資源回収量	
	燃やすごみ	陶器・ガラス・金属ごみ	粗大ごみ		
総量	68,189 t	3,154 t	2,876 t	74,219 t	25,627 t
区民1人1年あたり	202 kg			70 kg	
区民1人1日あたり	555 g			192 g	

② ごみ処理やリサイクルするのも経費が掛かります。

平成26年度の清掃事業の予算は、ごみの分別等の普及啓発費や車両の借上費等で約60.7億円となっています。これは、平成26年度の品川区の一般会計予算約1,462億円の4.2%にあたります。

また、ごみの処理や資源の回収には費用がかかります。区民一人あたりのごみの処理及び資源回収にかかった費用は、平成24年度ベースで15,887円(ごみ12,820円、資源3,067円)となっています。ごみ・資源の処理にかかった費用は、次のとおりです。

品川区のごみ・資源の処理にかかった経費

(平成24年度)



1年間で

約58.2億円

1人あたり 約15,887円
ごみ 12,820円
資源 3,067円

お問い合わせ先：品川区清掃事務所 庶務係

☎ 3490-7705

資源持ち去り行為は禁止されています

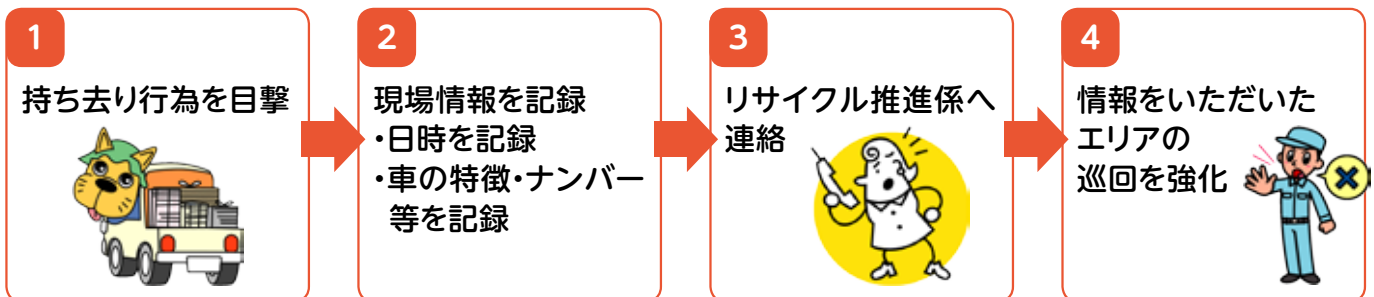
近年、資源回収ステーションの資源を、第三者(持ち去り業者)が持ち去る行為が頻繁に行われています。区では、早朝からパトロールを実施し、持ち去り行為に対しては厳しく指導を行っております。

持ち去り行為を行う者に直接声を掛けずに、持ち去り行為の現場を目撃しましたら、

- ① 日時・持ち去り行為が行われた住所を記録する。
- ② 持ち去り行為を行った者の車の特徴・ナンバー等を記録する。
- ③ ①・②の情報を下記のリサイクル推進係までご連絡していただく。

清掃事務所ではこうして区民の方からいただいた情報を基に、その住所付近のパトロールを強化いたします。

資源の持ち去りがしにくい環境づくりにご協力をお願いいたします。



持ち去り防止を強化するため、品川区清掃事務所品川庁舎および荏原庁舎では、以前から資源持ち去り防止テープを配布していました。4月より、新たに各地域センターでもテープを配布しています。資源回収ステーション(品川区の回収)に古紙を出す際には、是非このテープを活用していただき、持ち去り防止にご協力ください。

※町会・自治会で集める資源には使用しないでください。



お問い合わせ先：品川区清掃事務所 リサイクル推進係 ☎ 3490-7098



このエコクイズわかるかな？



Q1 地球に石油はあとどれくらいあるでしょう？

- A 100年も持たない
- B 約100年
- C 約500年

Q2 清掃工場では何度以上でゴミを燃やすでしょう？

- A 100度以上
- B 800度以上
- C 1200度以上

Q3 清掃工場でごみを燃やすと、その体積は最終的に何分の1になるでしょう？

- A 約2分の1
- B 約10分の1
- C 約40分の1



※答えは最後のページにあります。

ペットボトルを出す際はキャップとラベルを外してお出してください

これから暑い夏がやってきて、ペットボトルの利用が増えることかと思えます。回収されたペットボトルの中には、「キャップ」と「ラベル」が付いたまま出されたもの多く見られます。「キャップ」と「ラベル」は「ペットボトル本体」と材質が異なるため、それらが付いたまま出されると、選別の際に大量に水を使用し、環境への負荷が大きくなります。**ペットボトルを出す際には、キャップを取り、ラベルははがして、軽くすすいで資源回収ステーションにお出してください。**

また、取り外した「キャップ」と「ラベル」もリサイクルすることができます。他のプラスチックと一緒に「**プラスチック製容器包装**」として、中身の見える袋でお出してください。

キャップとラベルが外された、ペットボトル本体のみのベールのサンプル



キャップとラベルが付いたまま出されたペットボトルが多く含まれたベールのサンプル

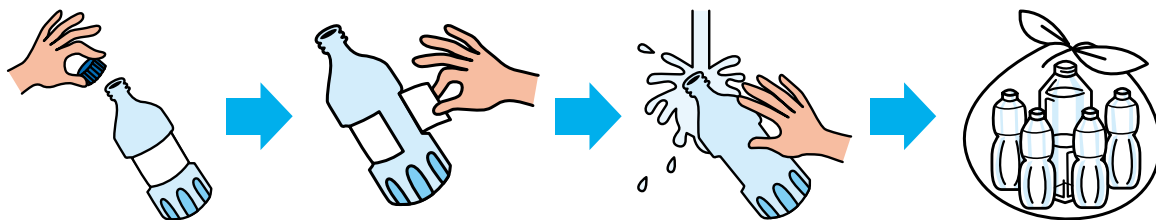


ペットボトルは資源化センターで異物を取り除いた後、運搬効率を上げるためベールというサイコロ状に圧縮梱包されてリサイクル業者へ引き渡されます。

選別の段階では、キャップとラベルの全てを手作業で取り除くことは難しく、キャップやラベルが付いたままサイコロ状に圧縮梱包されています。

ベールは、通常約20キロで800～1,000本のペットボトルを圧縮梱包していますがキャップを取り除いたペットボトルで圧縮梱包すると1000～1300本で圧縮梱包することができます。

皆さまで一人ひとりの分別排出が、さらなる資源の品質向上と運搬効率を上げ、環境負荷の軽減につながります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



クイズの答え



Q1 ▶ ① 100年も持たない

石油は化石燃料のひとつで、昔の動物の死骸や植物が何万年という長い時間をかけて変化したものです。このまま使い続けると100年も持ちませんので、大事に使いましょう。

Q2 ▶ ② 800度以上

800度以上の高温で燃やすことで、ダイオキシン類などの有害な物質が出ないようにしています。

Q3 ▶ ③ 約40分の1

ごみは焼却され灰になることで約20分の1の体積になり、さらにその灰を融解スラグという砂状のものにすることで、体積を灰の状態からの2分の1程にすることができます。よって最終的には元の体積の約40分の1まで減らすことができます。